

ふえる農薬による死亡事故

農薬事故は依然として発生しては、特に危険なことから、しつかりした貯蔵場所を設けて、必ず「カギ」をかけてください。

2 貯蔵場所には、医薬用外毒物医薬用外劇物の表示をはっきりして、危険なものが入っていることを家の人も知っているようにしましょう。

3 カギは主人が責任をもって厳重に保管してください。

4 農薬を飲食物の容器に入れたら、飲食物といっしょに置いておくと、誤って使うおそれがあり、大変危険です。

また、特定の毒物(ホリドール・テップ・フラトール・フツツールなど)は個人で所持したり使用したりすると法律違反です。

あいまいな知識と健康状態に注意

この原因は、正しい知識の不足や、使用の適正を欠くことによるものです。

その中には、服装の不備や、不健康状態で散布作業に従事した人もあります。

保管を厳重に!!

ところで、保管が不十分で、食べ物と誤って用い、死亡した例もありません。子どものある農家などは特に注意しましょう。

お宅の農薬管理は大丈夫でしょうか。

次のことを守って事故をおこさないよう気をつけてください。

- 1 毒物や劇物の表示のある農薬は特に危険なことから、しつかりした貯蔵場所を設けて、必ず「カギ」をかけてください。
 - 2 貯蔵場所には、医薬用外毒物医薬用外劇物の表示をはっきりして、危険なものが入っていることを家の人も知っているようにしましょう。
 - 3 カギは主人が責任をもって厳重に保管してください。
 - 4 農薬を飲食物の容器に入れたら、飲食物といっしょに置いておくと、誤って使うおそれがあり、大変危険です。
- また、特定の毒物(ホリドール・テップ・フラトール・フツツールなど)は個人で所持したり使用したりすると法律違反です。
- どうすれば防げるか**
- 慣れによる油断、不注意、または「低毒性」というレッテルによる安心感が恐い散布事故をひきおこします。農薬を散布するときには、つぎの点に注意しましょう。
- 1 散布中、散布者本人の不注意によるものが多く、散布剤を水で溶くときに蒸気で作業したり、散布中に「たばこ」をすったり、また、散布後農薬の付着した手を十分に洗わずに食事をした人が、劇名を知らずこと。
 - 2 散布作業は、朝夕の涼しい時間帯を選び、二〜三時間で交替すること。
 - 3 作業後は、手足はもちろん、全身を石けんでよく洗い、衣服は毎日取り替えること。
 - 4 作業後、酒を飲んだり、夜ふかしをしないこと。めまいがしたり、頭痛がしたり気分が少しでも悪くなったら医師の診断を受けること。その際使用した薬剤名を知らずこと。

有線放送電話番号追加訂正表

(7月分)

頁	氏名	番号	部 落 名	備 考
2	石田 熊雄	447	稲荷町	飲食店イスマール
6	佐野 忠義	354	新浦	
9	中村 佐喜男	892	沖 浦	
9	西田 登志雄	471	本町一	
10	藤淵 季志叔	14	真砂町	
12	山尾 治療院	844	東新地	アンマ鍼、灸
12	山口 栄	875	紺屋町	

「新追加」
36 井上 治平

「訂正」
39 神山栄治郎の番号、122番を「173番」に、部落名「本郷」を「加屋」に訂正
39 神山明の番号、345番を「122番」に訂正

役場の支払日は(平日の場合)
毎月 15日 午前8時30分〜午後3時
29日 午前8時30分〜午後3時

8月 保健衛生事業計画表

検査項目	料 金	と き	と ころ	該 当 者
成人病検診 (検診項目) 老人健康診査 満65才以上	無	8月21日(水) 午後1時30分から 午後4時30分まで	青島小学校	満40才以上
検 査 健康血圧測定 尿検査 (注意)	無	8月28日(水) 午後1時30分から 午後4時30分まで	隣保館	満40才以上
病 人 現在病氣療養中の 方は受ける必要は ありません	無	8月28日(水) 午後1時30分から 午後4時30分まで	隣保館	満40才以上
成 老 老人手帳のある方 は必ずご持参くだ さい	無	8月28日(水) 午後1時30分から 午後4時30分まで	隣保館	満40才以上

健康講座 夏まけの対策

七月も中旬を過ぎると、暑さはいよいよ本格的になってきます。

日本の夏は、湿度と温度が高いため、とくに体にこたえるといわれます。どんなに日ごろ健康を誇っている人でも、この高温多湿の夏になると、ひどく疲れをうづたえるようになります。そして「夏まけ」という現象がおこるのです。

これは、湿度や湿度や気圧の変化で、体内のホルモンのバランスがくずれるからだと説明されているようです。

そこで夏まけの対策として、次の二つの点が考えられます。

① ビタミン類を豊富にとること。

② 体内の新陳代謝をよくするために、「酸」をとること。

よく、疲れたときに甘いものを食べるとよいといわれますが、甘いものを吸収するために、多量のB1が必要になります。それだけでなく、夏は、B1の消費が盛んで、かえって体がだるくなるという事になります。

むしろ、極端に、すっぱいもの、酢のきいた野菜サラダ類を多くとるように心がけたほうが賢明といえるようになります。

ただ、あまり神経質に、あれやこれやを考えると、かえってマイナスです。要はパラエティに富んだ食事を十分とり、よく眠る……、これがなにより大切で、その上で、前に述べたような注意を怠らなければ、夏まけを予防することは可能です。

さらには、暑いからといって、ごろごろしてないで、積極的に体を動かし、汗をかき、お腹をすかせて食事をとるといって、何の要もない生活方式が、結局、いざよの夏まけ対策といえるかも知れません。

家畜の異動(増減)は すぐに届出を!

昨年、家畜共済制度が変わり、家畜共済の加入は、飼育している家畜の種類(乳用牛、肉用牛、馬など)ごとに全頭を同時に加入させる「包括加入方式」になりました。

家畜共済に加入すると、年間に頭数が増減しても、常にその頭数は全頭加入していることとなります。

そこで家畜共済に加入されている方で、加入後飼養されている家畜の頭数が増減の異動があつた場合は、そのつど、すぐに、電話か文書など都合のよい方法で、役場産業課へお知らせください。この異動通知をしなかつたり、偽りの通知を提出した場合は、偽りの通知を提出した日から、二日に統一していただきますので、共済責任期間は、すべてこの日に切れることになります。

家畜の異動とは、

- 1 加入資格の月齢に達したとき。(乳用牛、肉用牛は、生後六ヶ月たつたとき、また、馬は、二日に統一していただきますので、共済責任期間は、すべてこの日に切れることになります。)
- 2 加入資格家畜を導入したとき。
- 3 加入家畜を売却したとき。
- 4 肥育の育成を開始したとき。(栄養飼料を多量にあたえ、肉量の増加、肉質の改善をはかることなど。)
- 5 家畜の種類が変つたとき。

※1・2の場合には、異動のあつた日から14日以内に、共済金額の増額請求をすることが出来ます。

なお、このほか詳しいことは、産業課へお問い合わせください。

計量器の定期検査を行います

計量法の規定により、次の日程で計量器の定期検査を行いますので、取引証明に使用する計量器はかならず検査を受けてください。

(検査を受けなければならぬ計量器)

◎はかり ◎自動ます ◎皮革面積計 (ただし、改正法により従来の「さし・ます」は、検査をうけなくてもよいことになりました。)

計量器定期検査日程表

と き	と ころ
7月29日	今坊隣保館
7月30日	長浜町役場
7月31日	櫛生隣保館
8月1日	長浜町公民館
8月3日	出海支館
8月5日	長浜町農協
8月5日	大和支所
8月5日	長浜町公民館
8月5日	白滝支館

夏休みです。こどもを水の事故からまもりましょう。

夏休みです。こどもを水の事故からまもりましょう。

東京の近田さん

遠い東京の空の下から、長浜町の老人ホーム(白山園)へ、愛の寄付金一万円が届きました。この贈り主は、近田ヒサさんといわれ今年90才のおばあちゃんです。近田さんは、この町の出身で、現在東京都武蔵野市境2-20-18に住んでおられますが、親戚の高菊枝さん(大宇長浜本町)を通じて、老人ホームへ、納骨塔の建設資金にしてほしい、と、贈つてくれたのです。

豊茂の豊友会(豊茂)のみなさんは、このほど長浜町社会福祉協議会へ、福祉奉や、奉立てを寄付され、大変よろこばれています。

福祉奉20本(単価三八〇円) 奉立て一(三五〇〇円)

なお、豊友会とは、豊茂地区の25才から35才までの成人男子のグループで、会員の親睦を深めながら、地域をよくするためにありたいというグループです。

なお、現在会員は20名(会長、松田吉幸氏)です。



さて、今回の紙面、トツプにのせました写真、説明のとおり、遠く松山や小田方面から訪れた、つり客たちの一瞥です。

つり場として年々有名になってきた長浜、最近では、新聞に、テレビに、ラジオに紹介されるようになり、観光協会も、このお世話に早朝からテンテコマイ。

どうやら今年の夏からは、海水浴客にならんで、つり客で一段とにぎわいそう。

なにはともあれ、一年で一番来客の多いとき、気持ちよく迎えて、大いに楽しんでいただき、あ、長浜はいいところだな、と、よい印象を帰りのお土産に、もつてかえっていただき……、

来年は、今年の倍のお客さんでにぎわえるよう……。

いよいよ本格的な夏の訪れです。静かだった私たちの町も、観光客の訪れや問い合わせでにぎわいはじめました。

海に山に川……、自然美抜群のこの町を、いつまでも、生きていくの町を、楽しい町、として大切にしよう。

さて、今回の紙面、トツプにのせました写真、説明のとおり、遠く松山や小田方面から訪れた、つり客たちの一瞥です。

つり場として年々有名になってきた長浜、最近では、新聞に、テレビに、ラジオに紹介されるようになり、観光協会も、このお世話に早朝からテンテコマイ。

どうやら今年の夏からは、海水浴客にならんで、つり客で一段とにぎわいそう。

なにはともあれ、一年で一番来客の多いとき、気持ちよく迎えて、大いに楽しんでいただき、あ、長浜はいいところだな、と、よい印象を帰りのお土産に、もつてかえっていただき……、

来年は、今年の倍のお客さんでにぎわえるよう……。

夏休みです。こどもを水の事故からまもりましょう。

東京の近田さん

遠い東京の空の下から、長浜町の老人ホーム(白山園)へ、愛の寄付金一万円が届きました。この贈り主は、近田ヒサさんといわれ今年90才のおばあちゃんです。近田さんは、この町の出身で、現在東京都武蔵野市境2-20-18に住んでおられますが、親戚の高菊枝さん(大宇長浜本町)を通じて、老人ホームへ、納骨塔の建設資金にしてほしい、と、贈つてくれたのです。

豊茂の豊友会(豊茂)のみなさんは、このほど長浜町社会福祉協議会へ、福祉奉や、奉立てを寄付され、大変よろこばれています。

福祉奉20本(単価三八〇円) 奉立て一(三五〇〇円)

なお、豊友会とは、豊茂地区の25才から35才までの成人男子のグループで、会員の親睦を深めながら、地域をよくするためにありたいというグループです。

なお、現在会員は20名(会長、松田吉幸氏)です。



編集室